

排気筒  
(煙突)式

# ガスふろがまや 湯沸器

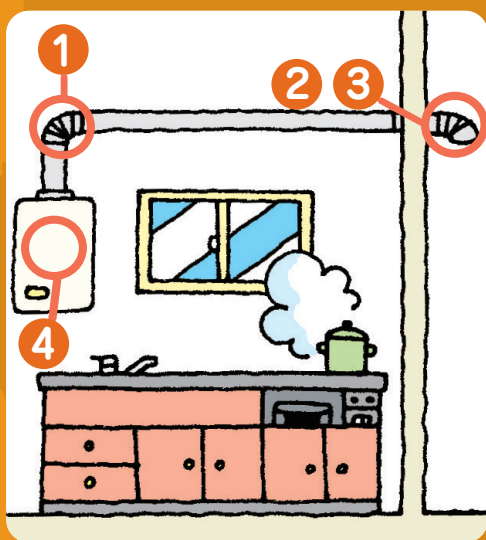
をご使用のみなさまへ



注意

**排気が室内に流入**すると  
**一酸化炭素中毒**を起こす危険があります。

## ● チェックポイント ●



1

排気筒(煙突)に穴あき、はずれはありませんか？

2

排気筒(煙突)に鳥の巣など異物がつまっていますか？

3

排気筒(煙突)の防火ダンパーが作動し排気をふさいでいませんか？  
排気筒へのダンパーの設置は法律(建築基準法)で禁止されています。

4

ファンの回転音はしますか？

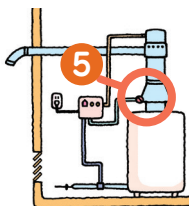
- ✔ 給気口はガス使用中には絶対にふさがないようにご注意ください。
- ✔ 強制排気式の湯沸器をお使いの場合は、排気ファン用のコンセントは、絶対に抜かないようにしてください。
- ✔ 排気筒(煙突)先端部は、防鳥網の構造にしてください。
- ✔ 増改築工事や塗装工事などで排気筒(煙突)を取り外したり、給排気設備をシートなどでおおったりした場合は、ガス機器を使用しないでください。



注意

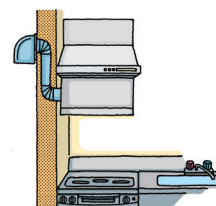
このような機器をお使いのお客さまも  
ご注意ください。

### 後付排気扇式ふろがま・湯沸器



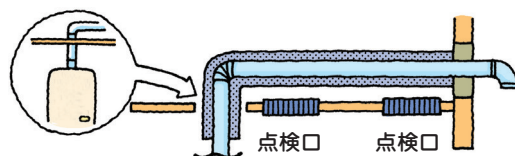
5 排気があふれていたり、検知器がはずれていたりしませんか？

### レンジフード型湯沸器



### 隠ぺい部に排気筒(煙突)がある場合

排気筒(煙突)に巻いている断熱材に穴があいていないか、シミがないかを点検してください。異常を見つけた場合は、販売店にご相談ください。また、点検口がない場合は、排気筒(煙突)全てが点検できる点検口を設置してください。



### 気をつけましょう！ 一酸化炭素中毒

一酸化炭素(CO)は無色・無臭で毒性の強い気体。不完全燃焼によって発生した一酸化炭素を吸うと、頭痛や吐き気、気分が悪くなるなど風邪によく似た症状があらわれます。(症状が重いときには死亡に至ることもあります。)このような症状を感じたら、ただちに使用を中止し換気をしたうえで、大阪ガスネットワーク(株)のガスもれ専用電話までご連絡ください。



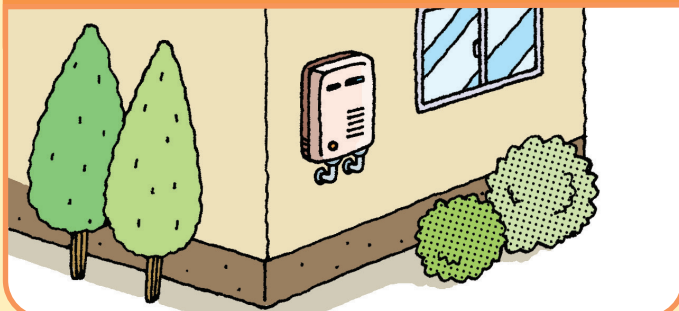
より安心して  
ご使用いただくために  
「屋外設置形機器」を  
おすすめします！

詳しくは裏面へ

より安心してご使用いただくために

## 「屋外設置形機器」をおすすめします。

### 屋外設置形機器



屋内のスペースが有効に使え、排気筒（煙突）の設備も不要です。また、浴そうから離れた所でも設置できる設置フリー形もあり、屋内からリモコン操作ができます。

●すでに取り替え済みの場合はご容赦ください。



屋外設置形機器を、屋内に設置したり波板などで囲うことは危険です。



屋外設置形機器を波板などで囲うと、新鮮な空気が不足して不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。また、機器の故障につながる場合もあります。

## 給排気設備に関する基準

※屋内にあるガスふろがまやガス給湯器等は、法令により適正な給排気設備の設置が義務づけられています。給排気設備に不備があると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし死亡事故につながる場合があります。

※ガスふろがまやガス給湯器等を屋内に設置するには、国で定められた資格が必要です。よく確認して工事を依頼しましょう。

地震や台風などの自然災害や大雪のあとは、排気筒（煙突）がはずれていたり、こわれていないかを確認してください。また、停電や故障等でファンが稼動しない場合は、使用を中止してください。



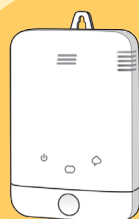
- 排気筒がふさがって（詰まって）いませんか？
- 排気筒がはずれていたり、穴があいていませんか？

※ガス機器本体の変形・破損について確認してください。

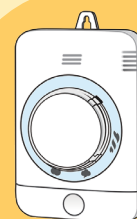
## もしものためのおすすめ

### ガス・CO警報器

ガスもれだけでなく、不完全燃焼時に発生する一酸化炭素（CO）も確実にキャッチして、光と音でお知らせします。万一にそなえて取り付けをおすすめします。また、より安心な、火災発生を感知する火災警報機能付きのタイプをおすすめしています。



ガス警報  
+  
CO警報



ガス警報  
+  
CO警報  
+  
火災警報